

家庭に対話が生まれるきっかけを創る

子育て支援プロジェクト カタリBar

代表 赤澤 徳俊

活動目的

盛岡市主催「地域福祉人材育成養成講座」に参加して、子育て中の父親が子育てを家族で共有出来ず孤独感を感じていたり、母親が子育ての不安などを話さずにいたりなど、夫婦間や社会とのコミュニケーション不足から来る弊害を感じました。

そこで、子育てコミュニティの土台作りを目的として、子育て中の親同士が楽しく気軽に本音で語り合うことを通じて、お互いに共感や学び、対話の大切さなどに気づいてもらう活動を始めました。

主な活動内容

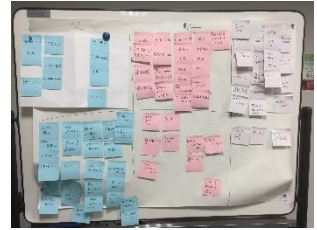
フレームワークを使ったワークショップや「家族未来パスポート」で、子育てにつながる「語る場」を創り出し、参加者同士の対話を通じて子育てのヒントや情報を共有、参加者同士の共感や気づきを引き出すイベントを開催しています。

活動報告

2017年

開催数 5回

参加人数 23名



2018年

開催数 6回

参加人数 45名



2019年

開催数 6回

参加人数 45名

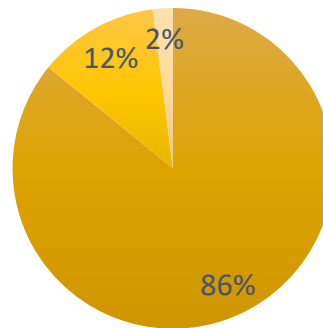


アンケート結果

アンケート枚数99枚

満 足	85名 (86%)
やや満足	12名 (12%)
普 通	2名 (2%)
やや不満	0名 (0%)
不 満	0名 (0%)

満足度



■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通

カタリBarの感想

- ・心の中で思っていることは同じだった
- ・違う意見が聞けて勉強になった
- ・自由に意見交換ができてよかった
- ・テーマがあって良かった
- ・いろんな人と話せて面白い企画だと思った
- ・他の人の意見を聞いて自分を客観的にみれた
- ・自分の気持ちと向き合えてうれしかった
- ・先駆的な取り組みだと思います
- ・子どもの人数や環境の違いで感じる事が違って、すごく良い情報交換ができた
- ・「語り場」と聞いて緊張した
- ・筋道が通っていてゴールが見えているので語る意味がみえました
- ・色々話せて気持ちがすっきりした
- ・親同士、話す機会がないのでとても良い会だと思います
- ・語る場や思い出すことが非常に大事な事だと気づきました
- ・語る時間がもっとほしかった
- ・過去・今・未来を振り返ることができ、未来を見つめ直すきっかけになりました
- ・すごく家族想いな企画だと思います

開催メリット

- ・子育てへの共感・情報交換ができる
- ・語る大切さに気付く
- ・ポジティブになれる
- ・振り返りや将来を考えるきっかけになる

開催デメリット

- ・語ることへのハードルの高さを感じ人がいる
- ・人前で話すのが恥ずかしい
- ・「語る」だけでは集客は難しい
- ・子どもと一緒にだと集中して語れない

開催のご提案

- ・子育てイベントの分科会
- ・子育て教室・親子教室等イベントの一環
- ・セミナー、親子体験会などの第2部として

開催内容

所要時間：約120分

- ・冒頭：10分 カタリBarの説明
*パワーポイントまたは紙媒介で配布
- ・自己紹介：5分 参加者同士で自己紹介
- ・説明：5分 模造紙と付箋を使ったワークショップの説明
- ・ワーク：90分 過去・現在・未来の順に付箋を使い語り合う
- ・振り返り：8分 参加者同士感想を述べあう
- ・終了：2分 「家族未来パスポート」の説明

備品

- ・用意していただくもの
会場、参加人数分 x A4用紙1枚、名札
*プロジェクターが使用できる場合は関連備品（説明時に使用）
- ・持参するもの
ワーク用模造紙、付箋、サインペン

予算

参加人数：4~20名（ファシリテーター1名）50,000円（税抜）
21~30名（ファシリテーター2名）55,000円（税抜）
31名~（ファシリテーター3名）60,000円（税抜）
*交通費はご依頼主様の規定に準じます

(メディア等掲載)

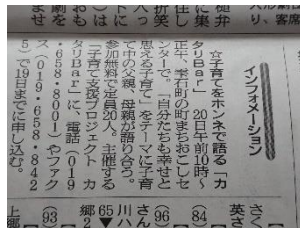
岩手日報(H30.10.9)



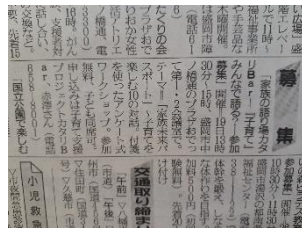
雫石町広報(H31.11月)



朝日新聞



盛岡タイムス



お問合せ先
子育て支援プロジェクト カタリBar
代表 赤澤 徳俊

株式会社赤澤号
〒020-0117
盛岡市緑が丘3丁目21-3

Tel:019-658-8001
Fax:019-658-8425
Mail:n21.akazawa@gmail.com